

水彩画教室「五月の風」

お茶の水女子大学附属小学校教諭
お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター 研究員
田中 千尋 Chihiro Tanaka

風を描くのは難しいです 風は大気の圧力の移動であり 地球の大気は透明だからです しかし五月上旬は風を描けます 鯉のぼりが風を受けて泳いでいるからです 赤城山からの風を受けて悠々と泳ぐ大きな鯉たち 田園風景に実によく似合います (深谷市人見)



これが完成した絵です



1、残雪の連嶺は丁寧に しかし春霞にやや彩度を落として描きます 隠し色に緑も使っています



2、空は自然なグラデーションを心がけます 地平線に近いほど薄い青になります 絵の具が乾かないうちに一気に塗ります



3、主題の鯉のぼり 風を受けて 胴体が膨らんでいる様子を 立体感を出しながら描くのが難しいです



4、このあたりの風景には 必ずケヤキの大木がほしいです やや雑になってしまいました



5、二階建ての農家 もう少し濃い色の屋根にすればよかったです



6、植え付けを待つ畑 畝はやや斜めに配したほうが画面に変化が出ます